

編集後記

気温、降水量など、気象に関する「観測史上1位」「観測史上初」の文字が連日マスコミを賑わし、また、実感としてひしひし感じられた今年の夏である。

もう一つ熱くしているのがギリシャでのアテネ・オリンピックで、日本のメダル獲得数と気温には関係があるとテレビで解説していた。気温が高い時には獲得数が多くなるそうで、事実、この原稿を書いている現在までのところ、柔道をはじめとして順調に獲得数を伸ばし、過去最高を上回る勢いである。

邦人がメダルを獲得するとなると見たくなるもので、盆休みもあったため、久し振りでオリンピックに見入った。私のオリンピックといえば東京オリンピックで、その後、野球、卓球など、今大会では女子レスリングの種目が追加されたことは知っていたが、それ以外は変わっていないと思っていた。

しかし、今回観戦して、従来は5人の演技者のうち上位4人の点数で競っていたものが、演技者が3人となり3人全員の得点で競うようになった体操の採点方法、姿三四郎と山嵐

の対決に心躍らせた世代から見ると、およそ決まり技とは思えない柔道での一本、大きく形が変わった体操の跳馬台などなど、内容も変わりつつあることを知った。

今月号は、「維持管理特集」号をお届けすることになりました。内容が変わるといえば、社会資本の投資も大きく変わりそうである。

国土交通白書によれば、年度ごとの総投資額に対する維持管理投資額の割合は、現在は20%程度であるが年々増加し、投資額が対前年比2%減で推移するとした場合、平成25年には維持管理が46%、更新が30%、合計76%、つまり、投資額のお大半が維持管理に充てられるようになることが予想されている。

世界的にも例のない少子・高齢化社会を迎えつつある現在、維持管理技術を更に開発・向上させ、社会資本のストックを有効利用することは、子孫に有意義な財産を残すためには不可欠である。独立行政法人土木研究所の西川企画部長にお願いした巻頭言や、各分野の掲載報文から、維持管理技術の動向の一端を感じていただければ望外の喜びである。

記録づくめの暑さが続いたなか、ご執筆いただいた方々に篤くお礼申しあげます。(山崎・軍記)

機関誌編集委員会

編集顧問

浅井新一郎	石川 正夫
今岡 亮司	上東 公民
岡崎 治義	加納研之助
桑垣 悦夫	後藤 勇
佐野 正道	新開 節治
高田 邦彦	田中 康之
田中 康順	塚原 重美
寺島 旭	中岡 智信
中島 英輔	橋元 和男
本田 宜史	渡邊 和夫

編集委員長

関 克己

編集委員

星隈 順一	国土交通省
小幡 宏	国土交通省
西園 勝秀	国土交通省
佐藤 隆	農林水産省
伊藤 早直	原子力安全保安院
夏原 博隆	鉄道・運輸機構
軍記 伸一	日本道路公団
新野 孝紀	首都高速道路公団
坂本 光重	本州四国連絡橋公団
山崎 劭	水資源機構
吉村 豊	電源開発
西田 光行	鹿島
和田 一知	川崎重工業
岩本雄二郎	熊谷組
有光 秀雄	コベルコ建機
金津 守	コマツ
山崎 忍	清水建設
村上 誠	新キャタピラー三菱
芳賀由紀夫	大成建設
星野 春夫	竹中工務店
加藤 謙	東亜建設工業
内田 克己	西松建設
森本 秀敏	日本国土開発
斉藤 徹	NIPPO
梅本 慶三	ハザマ
宮木 克己	日立建機
庄中 憲	施工技術総合研究所

10月号「環境対策特集」予告

- ・建設施工と環境対策
- ・国土交通省の環境行動計画について
- ・ダム施工における材料の有効活用と重力を利用した混合プラント
- ・洪水調整池の再生
- ・交通渋滞を起こさない新高架橋構築システム
- ・表土の移植復元
- ・鉛散弾回収とリサイクル
- ・コンクリートカット工事における環境対策
- ・建機における振動・騒音対策
- ・排出ガス3次4次規制に対応する新型エンジンの開発
- ・環境に優しい消耗品、補助資材

No.655 「建設の施工企画」 2004年9月号

(定価) 1部 840円 (本体 800円)
年間購読料 9,000円

平成16年9月20日印刷

平成16年9月25日発行(毎月1回25日発行)

編集兼発行人 小野 和日児

印刷所 株式会社 技報堂

発行所 社団法人日本建設機械化協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話 (03) 3433-1501; Fax. (03) 3432-0289; <http://www.jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所	〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154	電話 (0545) 35-0212
北海道支	部 〒060-0003 札幌市中央区北三条西 2-8	電話 (011) 231-4428
東北支	部 〒980-0802 仙台市青葉区二日町 16-1	電話 (022) 222-3915
北陸支	部 〒951-8131 新潟市白山浦 1-614-5	電話 (025) 232-0160
中部支	部 〒460-0008 名古屋市中区栄 4-3-26	電話 (052) 241-2394
関西支	部 〒540-0012 大阪市中央区谷町 2-7-4	電話 (06) 6941-8845
中国支	部 〒730-0013 広島市中区八丁堀 12-22	電話 (082) 221-6841
四国支	部 〒760-0066 高松市福岡町 3-11-22	電話 (087) 821-8074
九州支	部 〒810-0041 福岡市中央区大名 1-12-56	電話 (092) 741-9380